

ライブスイッチャー
AV-HS410
IP インターフェース仕様書
(HS410_IF)

Document No.
第 1.00 版
2013 年 12 月 10 日

パナソニック株式会社
AVC ネットワークス社

改定履歴

変更日付	内容	版数
13.12.10	初版	1.00

目次

[全 30 頁]

1. 概要	4
2. スイッチャー制御	4
2.1. 通信設定	4
2.2. コマンドの構成	4
2.3. コマンドのシーケンス	4
2.3.1. 制御コマンド	4
2.3.2. 問い合わせコマンド	6
3. コマンド詳細	7
3.1. コマンドフォーマット	7
3.2. コマンド一覧	8
3.3. エラー応答	9
3.4. バスのクロスポイント制御	10
3.4.1. クロスポイントの制御コマンド	12
3.5. バスのクロスポイント問い合わせ	13
3.6. バスの素材問い合わせ	14
3.7. オートランジション制御	16
3.7.1. バックグラウンドのミックスオートランジション制御コマンド	17
3.7.2. ピクチャーインピクチャーのオートランジション制御コマンド	18
3.7.3. キーのオートランジション制御コマンド	19
3.8. カットランジション制御	20
3.8.1. バックグラウンドのカットランジション制御コマンド	20
3.8.2. ピクチャーインピクチャーのカットランジション制御コマンド	21
3.8.3. キーのカットランジション制御コマンド	22
3.9. オートランジション時間の問い合わせ	23
3.10. オートランジション時間の制御	23
3.11. バスランジションの設定状態の問い合わせ	24
3.12. バスランジションの設定	24
3.13. トランジションパターンの問い合わせ	25
3.14. トランジションパターンの制御	25
3.15. PinP のパラメータの状態問い合わせ	26
3.16. PinP のパラメータ制御	26
3.17. サイドバイサイドの状態問い合わせ	28
3.18. サイドバイサイドの制御	28
3.18.1. サイドバイサイドの実行制御コマンド	29
3.18.2. サイドバイサイドの解除制御コマンド	30

1. 概要

本仕様書は、AV-HS410(ライブスイッチャー)と外部機器間のインターフェースプロトコルについて記載した仕様書です。本機能を使う場合には、外部 IF 制御用のプラグインソフトウェアをインストールする必要があります。AV-HS410 とネットワークで接続した PC 上のアプリケーションからバス切替や AUTO トランジションなどの制御が行えます。

2. スイッチャー制御

2.1. 通信設定

AV-HS410 との通信環境設定は下記の通りです。

- 10Base-T/100Base-T
- IPv4
- TCP/IP
- IP Address : メニューにて変更可能 (工場出荷設定:192.168.0.8)
- Subnet Mask : メニューにて変更可能 (工場出荷設定:255.255.255.0)
- Port 番号 : 60040 (固定:外部制御用で同時接続 4 台まで可能)
- 最低コマンド間隔 : 1 フレーム以上

通信コマンドの構成については第 2 章を、各機能のコマンドの内容については第 3 章を参照してください。

2.2. コマンドの構成

1 つのパケットは、[STX]0x02 で始まり[ETX]0x03 で終わります。

コマンドは 4 文字で、その後「:」(コロン)データが続きます。

コマンドによっては複数のデータになる場合がありますが、各データは「:」(コロン)で区切られています。数値データもアスキー形式で送信します。

2.3. コマンドのシーケンス

2.3.1. 制御コマンド

例) オートトランジションの実行



図 2.3.1.1. 制御コマンドのシーケンス 1

例) バスのクロスポイント制御(正常)



図 2.3.1.2. 制御コマンドのシーケンス 2

例) バスのクロスポイント制御(異常:パラメータ範囲外)



図 2.3.1.3. 制御コマンドのシーケンス 3

例) バスのクロスポイント制御(異常:電文異常)



図 2.3.1.4. 制御コマンドのシーケンス 4

2.3.2. 問い合わせコマンド

例) 各バスの状態の問い合わせ (XPT)

Aバスに XPT1 が設定され、タリーが Off の状態の時に問い合わせを行った場合

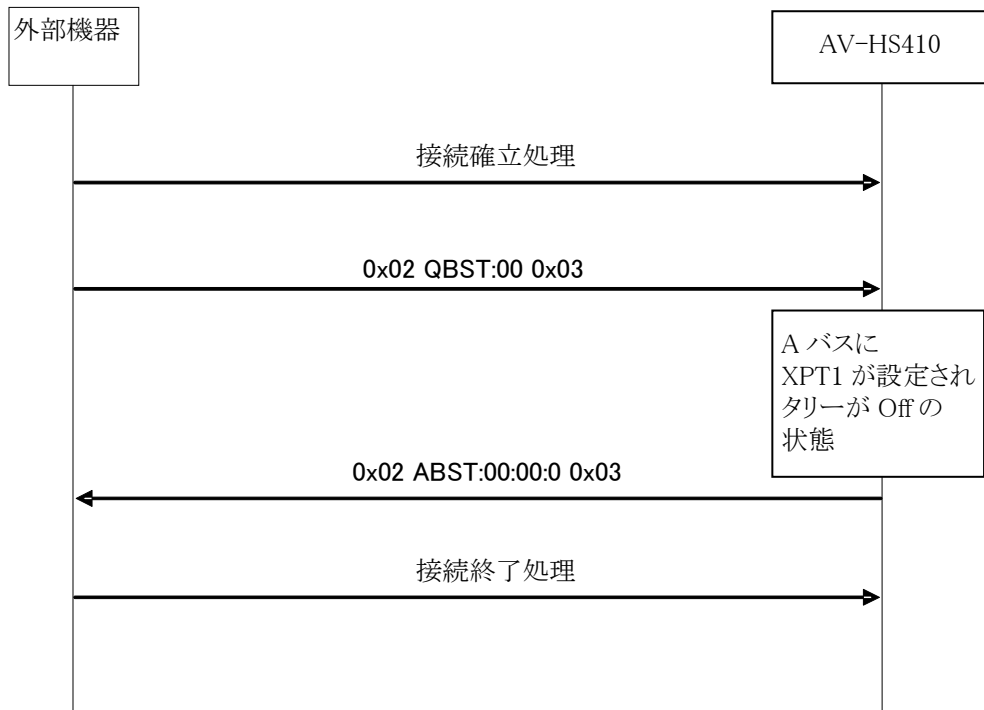


図 2.3.2. 問い合わせコマンドのシーケンス

3. コマンド詳細

送受信のコマンドフォーマットは下記のとおりです。

3.1. コマンドフォーマット

フォーマット

〈STX〉 コマンド名 [:パラメータ 1] [:パラメータ 2] [:パラメータ 3] 〈ETX〉

フォーマット説明

〈STX〉	…Start Of Text(=0x02)
コマンド名	…下記コマンド一覧参照(4つの英文字)
[:パラメータ 1]	…各コマンドのパラメータ値参照
[:パラメータ 2]	…各コマンドのパラメータ値参照
[:パラメータ 3]	…各コマンドのパラメータ値参照
〈ETX〉	…End Of Text(=0x03)

3.2. コマンド一覧

表 3. コマンド一覧

コマンド名		機能	通信ポート
3.3	EROR	エラー応答	60040
3.4	SBUS	バスのクロスポイント制御	60040
	ABUS	バスのクロスポイント応答	60040
3.5	QBST	バスのクロスポイント問い合わせ	60040
	ABST	バスのクロスポイント応答	60040
3.6	QBSC	バスの素材問い合わせ	60040
	ABSC	バスの素材応答	60040
3.7	SAUT	オートランジション制御	60040
3.8	SCUT	カットランジション制御	60040
3.9 3.10	QTIM	オートランジション時間の問い合わせ	60040
	ATIM	オートランジション時間の応答、返信	60040
	STIM	オートランジション時間の制御	60040
3.11 3.12	QBTI	バストランジションの設定状態の問い合わせ	60040
	ABTI	バストランジションの設定状態の応答、返信	60040
	SBTI	バストランジションの設定	60040
3.13 3.14	QPAT	ランジションパターンの問い合わせ	60040
	APAT	ランジションパターンの応答、返信	60040
	SPAT	ランジションパターンの制御	60040
3.15 3.16	QPNP	PinP のパラメータの状態問い合わせ	60040
	APNP	PinP のパラメータ応答、返信	60040
	SPNP	PinP のパラメータ制御	60040
3.17 3.18	QSBS	サイドバイサイドの状態問い合わせ	60040
	ASBS	サイドバイサイドの応答、返信	60040
	SSBS	サイドバイサイドの制御	60040

3.3. エラー応答

応答ありの制御電文を送った際、何かしらエラーが発生した場合にスイッチャーから返信されます。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
エラー応答	応答	EROR [:パラメータ 1]	[:パラメータ 1] :01 :02	異常内容 パラメータ範囲外 電文異常(未認識の場合)	応答のある制御 でエラーが発生し た時に使われま す。

3.4. バスのクロスポイント制御

バスのクロスポイント制御を行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
バスのクロス ポイント制御	制御	SBUS [:パラメータ 1] [:パラメータ 2]	[:パラメータ 1] :00 :01 :02 :03 :04 :05 :06 :07 :08 :09 :10 :11 :12 :13 :14 :15 [:パラメータ 2] :00 \ :23 :50 \ :62 :70 :71 :72 :73 :74 :75 :76 :77 :78 :79 :80 :81 :82 :90 :91 :92 :93 :94 :95 :96	バス選択 A バス(モードによらず上側) B バス(モードによらず下側) PGM(モードによらず PGM 列) PVW(モードによらず PVW 列) KEY-Fill KEY-Source DSK-Fill DSK-Source — — PinP1 PinP2 AUX1 AUX2 AUX3 AUX4 素材 XPT1 \ XPT24 Input1 \ Input13 カラーバー カラーバックグラウンド 1 ブラック Still1V Still2V Clip1V Clip2V PGM PVW KeyOut CLN Multi View — — M-PVW Still1K Still2K Clip1K Clip2K カラーバックグラウンド 2	現状のバス選択 を取得する際は QBST コマンドま たは QBSC コマン ドを使用します。
	応答	ABUS [:パラメータ 1] [:パラメータ 2]	[:パラメータ 1] :00 :01 :02 :03	バス選択 A バス(モードによらず上側) B バス(モードによらず下側) PGM(モードによらず PGM 列) PVW(モードによらず PVW 列)	

			:04	KEY-Fill	
			:05	KEY-Source	
			:06	DSK-Fill	
			:07	DSK-Source	
			:08	—	
			:09	—	
			:10	PinP1	
			:11	PinP2	
			:12	AUX1	
			:13	AUX2	
			:14	AUX3	
			:15	AUX4	
			[:パラメータ 2]	素材	
			:00	XPT1	
			∟	∟	
			:23	XPT24	
			:50	Input 1	
			∟	∟	
			:62	Input 13	
			:70	カラーバー	
			:71	カラーバックグラウンド 1	
			:72	ブラック	
			:73	Still1V	
			:74	Still2V	
			:75	Clip1V	
			:76	Clip2V	
			:77	PGM	
			:78	PVW	
			:79	KeyOut	
			:80	CLN	
			:81	Multi View	
			:82	—	
			:90	—	
			:91	M-PVW	
			:92	Still1K	
			:93	Still2K	
			:94	Clip1K	
			:95	Clip2K	
			:96	カラーバックグラウンド 2	

！ 注意事項

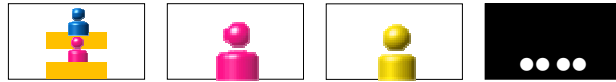
1. クロスポイントに設定していない映像素材(ノーアサイン状態)でも、SBUS コマンドのパラメータ2でインプット番号や素材名称を選択した場合、クロスポイントで選択することができます。この場合、操作パネルのクロスポイントボタンは不点灯となります。
2. クロスポイントに設定していない映像素材(ノーアサイン状態)を SBUS コマンドのパラメータ2でクロスポイント番号を選択する場合、ノーアサインのクロスポイントは選択されず、従前のクロスポイントが有効となります。

3.4.1. クロスポイントの制御コマンド

例) PGM バスのクロスポイント制御

出力映像をカメラ 1 映像(Input1)からカメラ 2 映像(Input2)に切り替えを行った場合。

入力素材例



カメラ 1 カメラ 2 カメラ 3 テロップ

クロスポイント状態

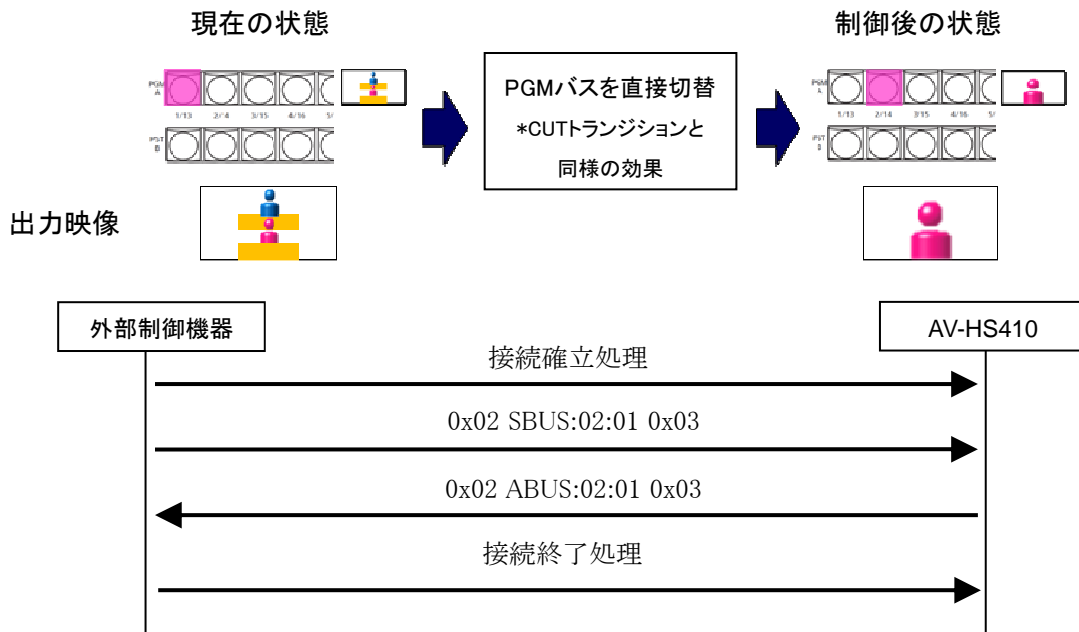


図 3.4.1. PGM バスの切り替えコマンドのシーケンス

3.5. バスのクロスポイント問い合わせ

各バスで取られているクロスポイントの問い合わせを行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
各バスのクロスポイント問い合わせ	要求	QBST [:パラメータ 1]	[:パラメータ 1] :00 :01 :02 :03 :04 :05 :06 :07 :08 :09 :10 :11 :12 :13 :14 :15	バス選択 A バス(モードによらず上側) B バス(モードによらず下側) PGM(モードによらず PGM 列) PVW(モードによらず PVW 列) KEY-Fill KEY-Source DSK-Fill DSK-Source — — PinP1 PinP2 AUX1 AUX2 AUX3 AUX4	ABST で返信されます。 クロスポイントの問い合わせです。 素材が知りたい場合は QBSC を使用してください。
	応答	ABST [:パラメータ 1] [:パラメータ 2] [:パラメータ 3]	[:パラメータ 1] :00 :01 :02 :03 :04 :05 :06 :07 :08 :09 :10 :11 :12 :13 :14 :15 [:パラメータ 2] :00 \ :23 :99 [:パラメータ 3] :0 :1	バス選択 A バス(モードによらず上側) B バス(モードによらず上側) PGM(モードによらず PGM 列) PVW(モードによらず PVW 列) KEY-Fill KEY-Source DSK-Fill DSK-Source — — PinP1 PinP2 AUX1 AUX2 AUX3 AUX4 クロスポイント XPT1 \ XPT24 選択なし タリー情報 タリー-Off タリー-On	QBST コマンドに対する返信です。

3.6. バスの素材問い合わせ

各バスで取られている素材の問い合わせを行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
各バスの素材問い合わせ	要求	QBSC [:パラメータ 1]	[:パラメータ 1] :00 :01 :02 :03 :04 :05 :06 :07 :08 :09 :10 :11 :12 :13 :14 :15	バス選択 Aバス(モードによらず上側) Bバス(モードによらず下側) PGM(モードによらず PGM 列) PVW(モードによらず PVW 列) KEY-Fill KEY-Source DSK-Fill DSK-Source — — PinP1 PinP2 AUX1 AUX2 AUX3 AUX4	ABSC で返信されます。 素材の問い合わせです。 クロスポイントが知りたい場合は QBST を使用してください。
	応答	ABSC [:パラメータ 1] [:パラメータ 2] [:パラメータ 3]	[:パラメータ 1] :00 :01 :02 :03 :04 :05 :06 :07 :08 :09 :10 :11 :12 :13 :14 :15 [:パラメータ 2] :50 \ :62 :70 :71 :72 :73 :74 :75 :76 :77 :78 :79 :80	バス選択 Aバス(モードによらず上側) Bバス(モードによらず下側) PGM(モードによらず PGM 列) PVW(モードによらず PVW 列) KEY-Fill KEY-Source DSK-Fill DSK-Source — — PinP1 PinP2 AUX1 AUX2 AUX3 AUX4 素材 Input1 \ Input13 カラーバー カラーバックグラウンド 1 ブラック Still1V Still2V Clip1V Clip2V PGM PVW KeyOut CLN	QBSC コマンドに対する返信です。

			:81	Multi View	
			:82	—	
			:90	—	
			:91	M-PVW	
			:92	Still1K	
			:93	Still2K	
			:94	Clip1K	
			:95	Clip2K	
			:96	カラーバックグラウンド 2	
			[:パラメータ 3]	タリー情報	
			:0	タリーOff	
			:1	タリーOn	

3.7. オートランジション制御

オートランジションの制御(トリガー発行)を行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
オートランジションの制御 (トリガー発行)	制御	SAUT	[:パラメータ 1]	素材	パネル上のボタンを押したときと同じ動作です。
			[:パラメータ 1] :00	BKGD	
			[:パラメータ 2] :01	KEY	
			[:パラメータ 3] :04	PinP1	
			:05	PinP2	
			:06	FTB	
			:07	DSK	
			[:パラメータ 2] :0	パラメータ 1 で BKGD 選択時の効果 MIX	
			:1	WIPE	
			[:パラメータ 3] :0	動作設定 トリガーOn (通常の AUTO ボタンが押された時に発行)	
			:1	On Take (Off→On へ遷移)(BKGD 選択時は除く)	
			:2	Off Take (On→Off へ遷移)(BKGD 選択時は除く)	

3.7.1. バックグラウンドのミックスオートランジション制御コマンド

例) BKGD のミックスオートランジション

PVVW バスで XPT2(カメラ 2)を選択し、15f(約 0.5s)のミックスランジションで切り替える場合。



クロスポイント状態

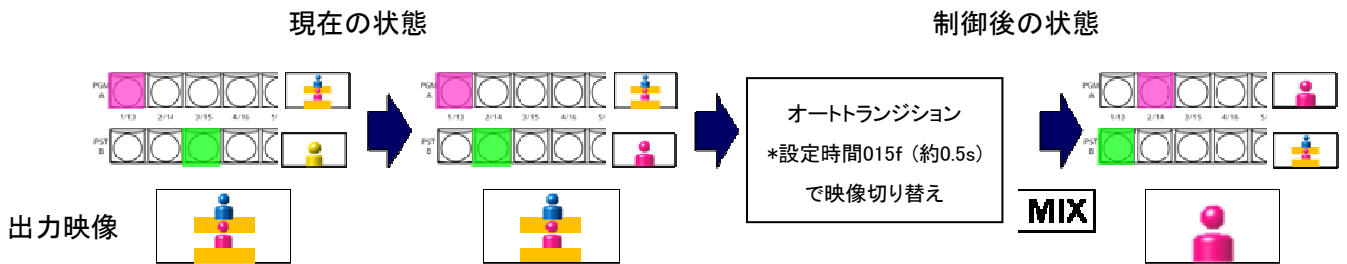


図 3.7.1 BKGD のミックスオートランジションコマンドのシーケンス

3.7.2. ピクチャーインピクチャーのオートランジション制御コマンド

例) ピクチャーインピクチャー(PinP)映像の解除
 バックグラウンド映像上に表示している PinP を 0f(カット効果)で解除する場合



クロスポイント状態

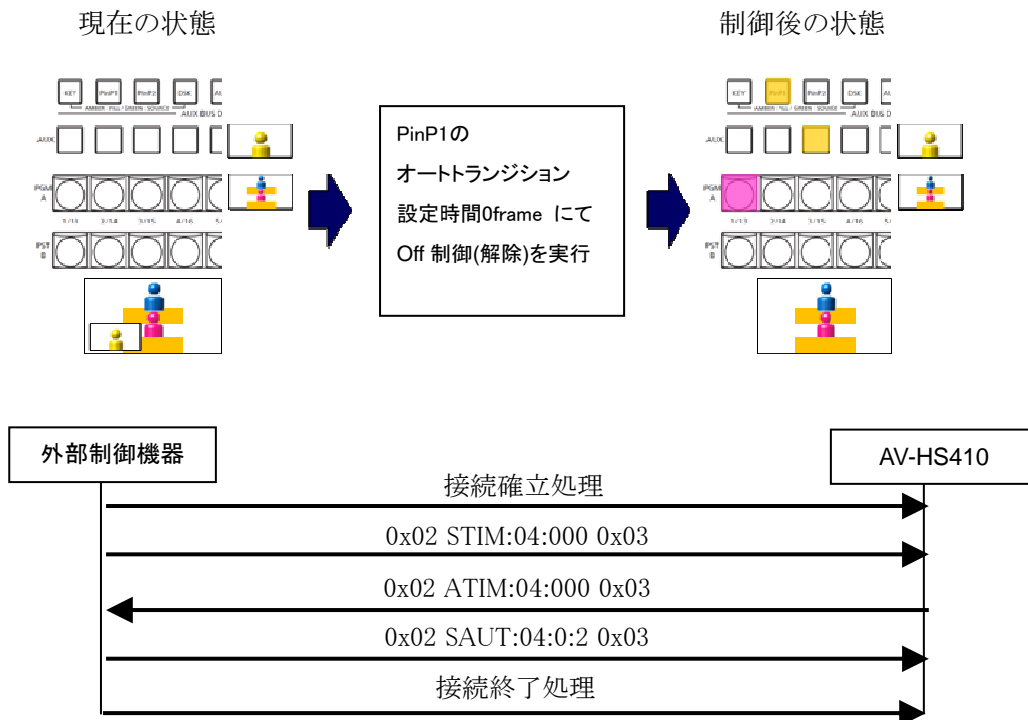


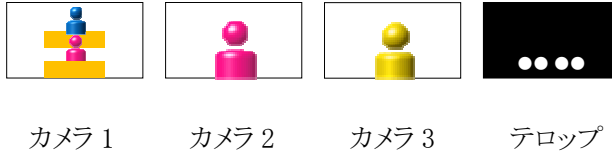
図 3.7.2 PinP オフのオートランジションコマンドのシーケンス

3.7.3. キーのオートランジション制御コマンド

例) キー(文字スーパー)映像の解除

バックグラウンド映像上に文字スーパーしているキーを 0f(カット効果)で解除する場合。

入力素材例



クロスポイント状態

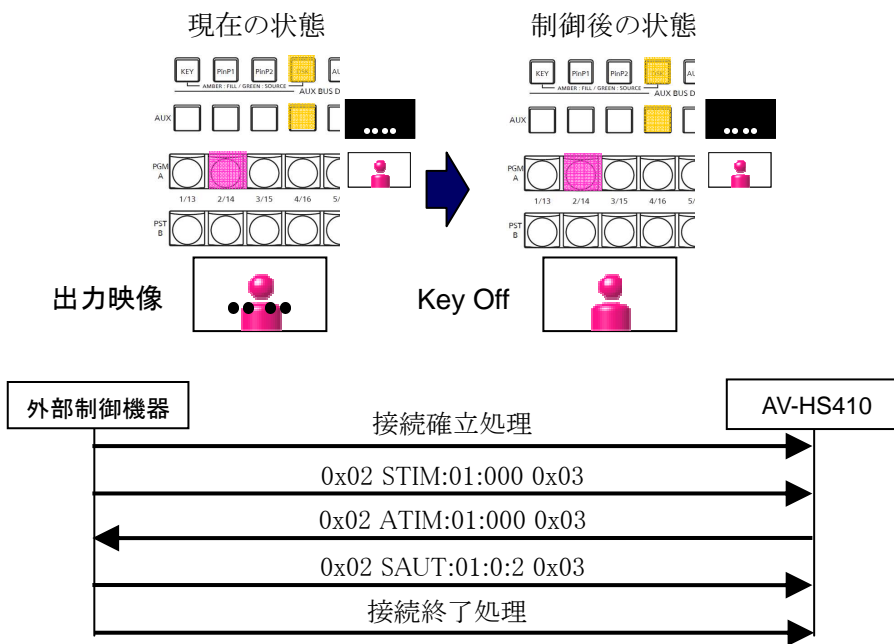


図 3.7.3. キーオフのオートランジションコマンドのシーケンス

3.8. カットランジション制御

カットランジションの制御(トリガー発行)を行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
カットランジションの制御 (トリガー発行)	制御	SCUT [:パラメータ 1]	[:パラメータ 1] :00 :01 :04 :05 :06 :07	素材 BKGD KEY PinP1 PinP2 FTB DSK	

3.8.1. バックグラウンドのカットランジション制御コマンド

例) バックグラウンド映像のカットランジション制御

PVW バスで XPT3(カメラ映像 3)を選択し、カットランジションを実行した場合。

入力素材例



カメラ 1 カメラ 2 カメラ 3 テロップ

クロスポイント状態

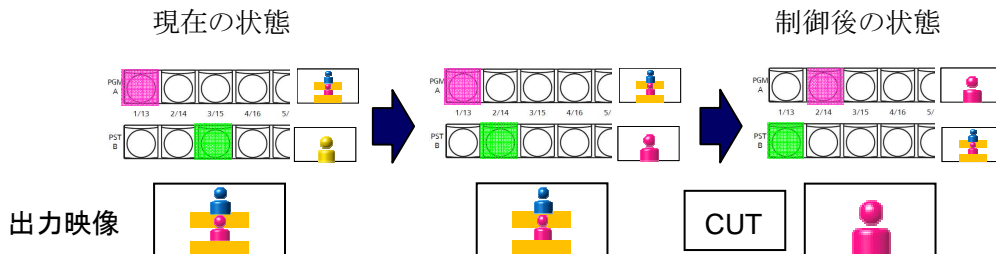


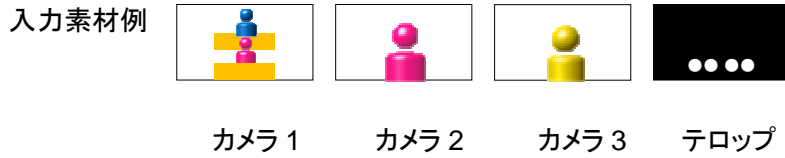
図 3.8.1 BKGD のカットランジションコマンドのシーケンス

3.8.2. ピクチャーインピクチャーのカットランジション制御コマンド

例) ピクチャーインピクチャ(PinP)の挿入

PinP に XPT3(カメラ 3)を選択し、バックグラウンド映像に挿入する場合。

注) PinP のオフは、オートランジション制御を参照。



クロスポイント状態

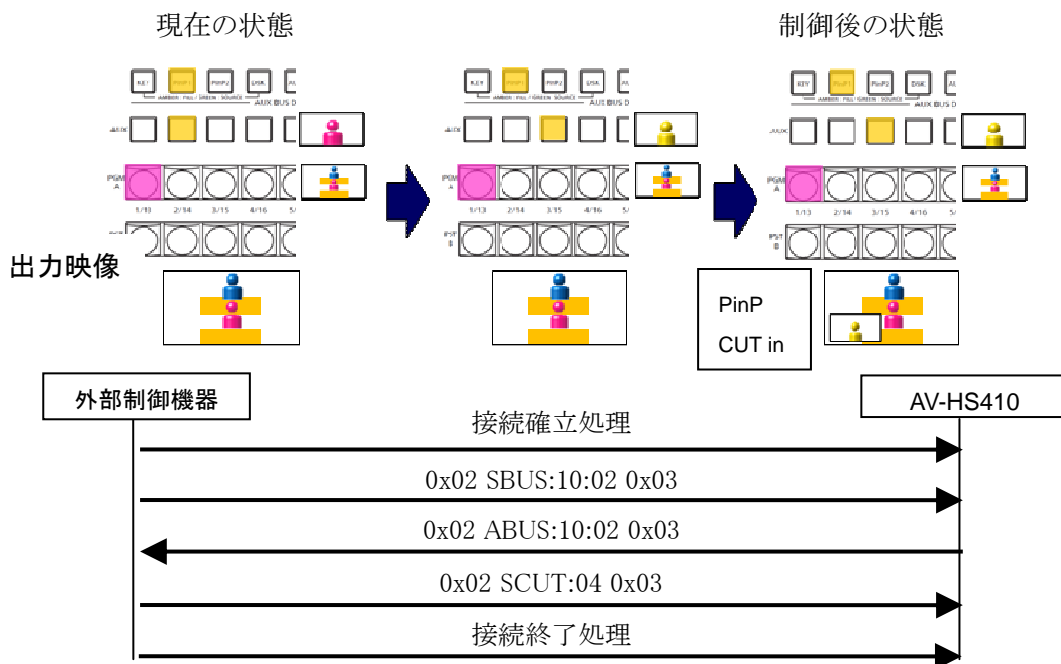
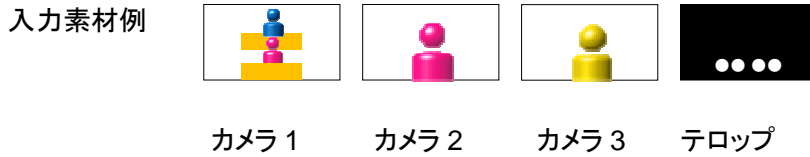


図 3.8.2 PinP カットインコマンドのシーケンス

3.8.3. キーのカットランジション制御コマンド

例) キーのカットイン挿入

XPT4 の画像をキー素材としてバックグラウンド映像に文字スーパーをカットイン挿入する場合。



クロスポイント状態

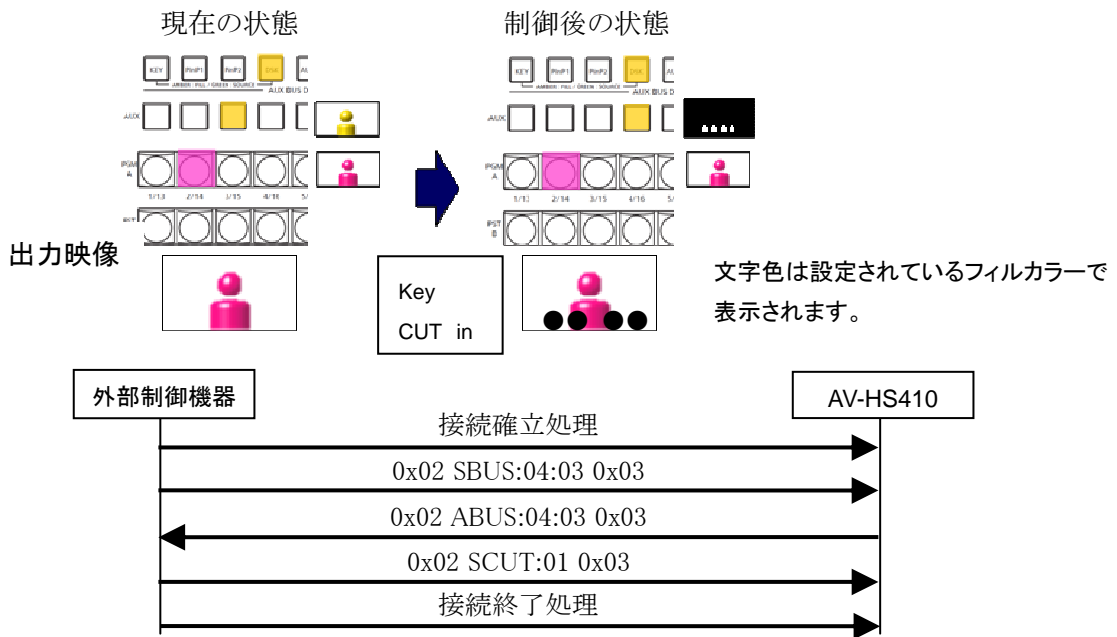


図 3.8.3 キーのカットイン挿入コマンドのシーケンス

3.9. オートトランジション時間の問い合わせ

オートトランジション時間の問い合わせを行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
各オートトランジション時間の問い合わせ	要求	QTIM [:パラメータ 1]	[:パラメータ 1] :00 :01 :04 :05 :06 :07	トランジション対象設定 BKGD KEY PinP1 PinP2 FTB DSK	
	応答	ATIM [:パラメータ 1] [:パラメータ 2]	[:パラメータ 1] :00 :01 :04 :05 :06 :07 [:パラメータ 2] :000 \ :999	トランジション対象設定 BKGD KEY PinP1 PinP2 FTB DSK 各時間(フレーム単位) 000 フレーム \ 999 フレーム	QTIM コマンドに対する返信です。

3.10. オートトランジション時間の制御

各オートトランジション時間の制御を行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
各オートトランジション時間の制御/応答	制御	STIM [:パラメータ 1] [:パラメータ 2]	[:パラメータ 1] :00 :01 :04 :05 :06 :07 [:パラメータ 2] :000 \ :999	トランジション対象設定 BKGD KEY PinP1 PinP2 FTB DSK 各時間(フレーム単位) 000 フレーム \ 999 フレーム	
	応答	ATIM [:パラメータ 1] [:パラメータ 2]	[:パラメータ 1] :00 :01 :04 :05 :06 :07 [:パラメータ 2] :000 \ :999	トランジション対象設定 BKGD KEY PinP1 PinP2 FTB DSK 各時間(フレーム単位) 000 フレーム \ 999 フレーム	STIM コマンドに対する返信です。

3.11. バストランジションの設定状態の問い合わせ

AUX1、PinP1、PinP2 バスにあるバストランジション(MIX 効果)の設定状態の問い合わせを行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
バストランジション設定状態の問い合わせ	要求	QBTI [:パラメータ 1]	[:パラメータ 1] :01 :02 :03	バスの種類 AUX1 PinP1 PinP2	
	応答	ABTI [:パラメータ 1] [:パラメータ 2] [:パラメータ 3]	[:パラメータ 1] :01 :02 :03 [:パラメータ 2] :01 :02 [:パラメータ 3] :000 \ :999	バスの種類 AUX1 PinP1 PinP2 有効/無効 Enable Disable 各時間(フレーム単位) 000 フレーム \ 999 フレーム	QBTI コマンドに対する返信です。

3.12. バストランジションの設定

AUX1、PinP1、PinP2 バスにあるバストランジション(MIX 効果)の設定を行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
バストランジションの設定	制御	SBTI [:パラメータ 1] [:パラメータ 2] [:パラメータ 3]	[:パラメータ 1] :01 :02 :03 [:パラメータ 2] :01 :02 [:パラメータ 3] :000 \ :999	バスの種類 AUX1 PinP1 PinP2 有効/無効 Enable Disable 各時間(フレーム単位) 000 フレーム \ 999 フレーム	
	応答	ABTI [:パラメータ 1] [:パラメータ 2] [:パラメータ 3]	[:パラメータ 1] :01 :02 :03 [:パラメータ 2] :01 :02 [:パラメータ 3] :000 \ :999	バスの種類 AUX1 PinP1 PinP2 有効/無効 Enable Disable 各時間(フレーム単位) 000 フレーム \ 999 フレーム	SBTI コマンドに対する返信です。

3.13. トランジションパターンの問い合わせ

トランジションパターンの問い合わせを行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
トランジションパターン 問い合わせ	要求	QPAT [:パラメータ1]	[:パラメータ1] :01 :02	種類 BKGD KEY	
	応答	APAT [:パラメータ1] [:パラメータ2]	[:パラメータ1] :01 :02 [:パラメータ2] :01~09 :11~19 : :61~69	種類 BKGD KEY パターン WIPE01~09 WIPE11~19 \ WIPE61~69	QPAT コマンドに対する返信です。

3.14. トランジションパターンの制御

トランジションパターンの制御を行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
トランジションパターン の制御/応答	制御	SPAT [:パラメータ1]	[:パラメータ1] :01 :02 [:パラメータ2] :01~09 :11~19 : :61~69	種類 BKGD KEY パターン WIPE01~09 WIPE11~19 \ WIPE61~69	
	応答	APAT [:パラメータ1] [:パラメータ2]	[:パラメータ1] :01 :02 [:パラメータ2] :01~09 :11~19 : :61~69	種類 BKGD KEY パターン WIPE01~09 WIPE11~19 \ WIPE61~69	SPAT コマンドに対する返信です。

！ 注意事項

以下のワイプパターン番号(11 個)を選択した場合は、ワイプ波形は変更されず、従前のワイプパターンが有効となります。

- WIPE 2 : 18 番、19 番
- SQ 2 : 33 番、39 番
- SL : 45 番
- 3D 2 : 64 番 ~ 69 番

3.15. PinP のパラメータの状態問い合わせ

PinP のパラメータ問い合わせを行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
PinP のパラメータ問い合わせ	要求	QPNP [:パラメータ 1]	[:パラメータ 1] :1 :2	対象設定 PinP1 PinP2	
	応答	APNP [:パラメータ 1] [:パラメータ 2] [:パラメータ 3] [:パラメータ 4] [:パラメータ 5] [:パラメータ 6]	[:パラメータ 1] :1 :2 [:パラメータ 2] [:パラメータ 3] :-10000 ~ [:パラメータ 4] :+10000 [:パラメータ 5] :-10000 ~ [:パラメータ 6] :+10000 [:パラメータ 7] :00000 ~ [:パラメータ 8] :10000 [:パラメータ 9] :0 :1 :2 :3 :4 [:パラメータ 10] :0 :1 :2 :3 :4	対象設定 PinP1 PinP2 中心 X 位置 -100.00~+100.00 注) 6 桁固定 +00000/-00000 中心 Y 位置 -100.00~+100.00 注) 6 桁固定 +00000/-00000 サイズ 000.00~100.00 注)5 桁固定 10.00 の場合→01000 ボーダー幅 なし 小 中 大 それ以外 ボーダー色 白 グレー1 グレー2 黒 それ以外	QPNP コマンドに対する返信です。

3.16. PinP のパラメータ制御

PinP のパラメータ制御を行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
各 PinP のパラメータ制御/応答	制御	SPNP [:パラメータ 1] [:パラメータ 2] [:パラメータ 3] [:パラメータ 4] [:パラメータ 5] [:パラメータ 6]	[:パラメータ 1] :1 :2 [:パラメータ 2] :-10000 ~ :+10000 [:パラメータ 3] :-10000 ~ :+10000 [:パラメータ 4] :00000 ~ :10000 [:パラメータ 5] :0 :1 :2 :3 :4 [:パラメータ 6] :0 :1 :2 :3 :4	対象設定 PinP1 PinP2 中心 X 位置 -100.00~+100.00 注) 6 桁固定 +00000/-00000 中心 Y 位置 -100.00~+100.00 注) 6 桁固定 +00000/-00000 サイズ 000.00~100.00 注) 5 桁固定 10.00 の場合→01000 ボーダー幅 なし 小 中 大 変更せず ボーダー色 白 グレー1 グレー2 黒 変更せず	
	応答	APNP [:パラメータ 1] [:パラメータ 2] [:パラメータ 3] [:パラメータ 4] [:パラメータ 5] [:パラメータ 6]	[:パラメータ 1] :1 :2 [:パラメータ 2] :-10000 ~ :+10000 [:パラメータ 3] :-10000 ~ :+10000 [:パラメータ 4] :00000 ~ :10000 [:パラメータ 5] :0 :1 :2 :3 :4 [:パラメータ 6] :0 :1 :2 :3 :4	対象設定 PinP1 PinP2 中心 X 位置 -100.00~+100.00 注) 6 桁固定 +00000/-00000 中心 Y 位置 -100.00~+100.00 注) 6 桁固定 +00000/-00000 サイズ 000.00~100.00 注) 5 桁固定 10.00 の場合→01000 ボーダー幅 なし 小 中 大 それ以外 ボーダー色 白 グレー1 グレー2 黒 それ以外	SPNP コマンドに対する返信です。

3.17. サイドバイサイドの状態問い合わせ

サイドバイサイドの状態問い合わせを行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
サイドバイサイドの状態問い合わせ	要求	QSBS			
	応答	ASBS [:パラメータ 1]	[:パラメータ 1] :0 :1	状態 OFF ON	QSBS コマンドに対する返信です。

3.18. サイドバイサイドの制御

サイドバイサイドの制御を行います。

コマンド名	種別	コマンド	パラメータ値	設定値	備考
サイドバイサイドの制御	制御	SSBS [:パラメータ 1]	[:パラメータ 1] :0 :1	制御内容 OFF ON	※OFF 制御するとBKGD 素材に戻ります
	応答	ASBS [:パラメータ 1]	[:パラメータ 1] :0 :1	状態 OFF ON	SSBS コマンドに対する返信です。

補足: サイドバイサイド ON 時に以下のピクチャーインピクチャー設定を反映します。

また、サイドバイサイド OFF 時に、元のピクチャーインピクチャーの設定値に戻ります。

(1) ポジション設定

左(PinP1): X-25, Y00, S100

右(PinP2): X 25, Y00, S100

(2) ボーダー設定

共通: ボーダー"ON" / Width:1 / Color 白

(3) トリミング設定

共通: Trim:Manual/Manual: Free

左(PinP1)

:Left -25, Right 25, Top 50, Bottom -50

右(PinP2)

:Left -25, Right 25, Top 50, Bottom -50

(4) プライオリティ設定

プライオリティ 1 : キー

プライオリティ 2 : PinP1

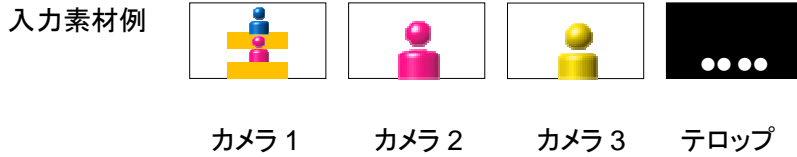
プライオリティ 3 : PinP2

(5) 形、濃度 設定

Shape:Square/Density:100

3.18.1. サイドバイサイドの実行制御コマンド

例) サイドバイサイド(2画面分割)表示を行う
 XPT2(カメラ 2:左側)と XPT3(カメラ 3:右側)を 2画面表示する。



クロスポイント状態
 現在の状態

制御後の状態

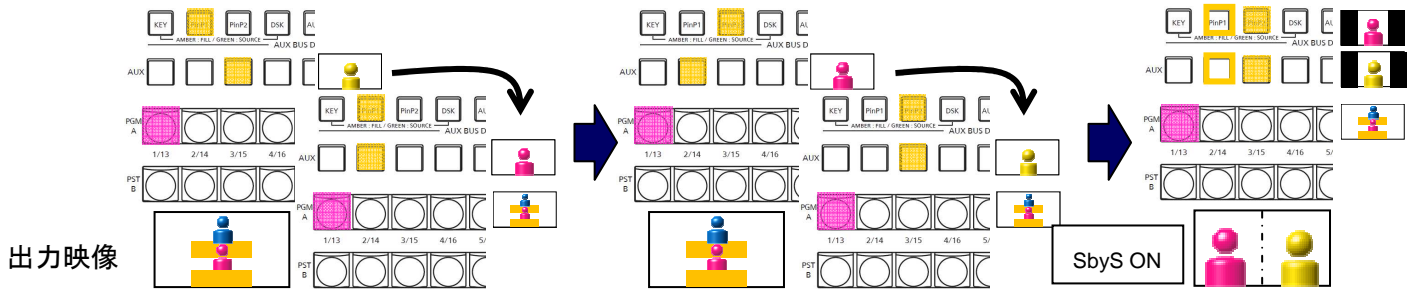
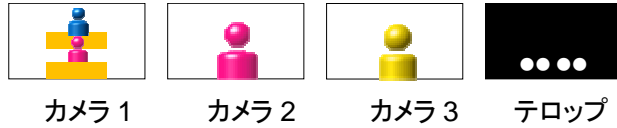


図 3.18.1 サイドバイサイドの実行コマンドのシーケンス

3.18.2. サイドバイサイドの解除制御コマンド

例) サイドバイサイドを解除する
 サイドバイサイド表示を解除して、バックグラウンド映像表示を行う場合。

入力素材例



クロスポイント状態

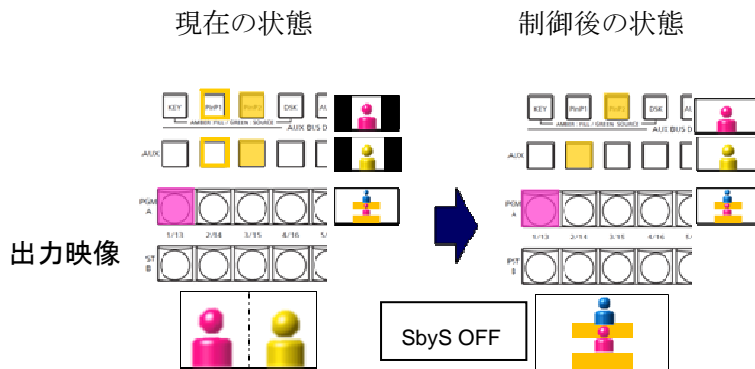


図 3.18.2 サイドバイサイドの解除コマンドのシーケンス